

熊本高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	情報通信技術	
科目基礎情報							
科目番号	0022			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	生産システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	シスコ ネットワーキング アカデミーのオンラインテキストを使用する						
担当教員	藤本 洋一						
到達目標							
1. PCのネットワーク設定ができる 2. 簡単なネットワークの設定ができる 3. 簡単なネットワークのトラブルを解決できる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	必要な設定を自ら調査し、PCのネットワーク設定ができる			指定された条件のもとでPCのネットワーク設定ができる		PCのネットワーク設定ができない	
評価項目2	指定されたネットワークの各機器の設定ができる			指定されたネットワークの各機器の設定をヒントがあれば設定できる		指定されたネットワークの各機器の設定をヒントがあっても構築することができない	
評価項目3	指定された課題のネットワークをヒントなしに解決できる			指定された課題のネットワークトラブルをヒントがあれば解決できる		指定されたネットワークトラブルをヒントがあっても解決することができない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 2-2 学習・教育到達度目標 6-1 JABEE (d)-(2) JABEE (d)-(3) JABEE e							
教育方法等							
概要	情報通信関連技術について、PCの設定、ルータの設定、スイッチの設定などのネットワーク構築やその他の知識・技術を学習する科目である。主として時間割外の時間に各自でe-Learning、シミュレータ等を使用して自学自習する。また、長期休暇中などに実際の機器を使用した設定実習やトラブルシューティング、ケーススタディなどを必要に応じて行う。なお、この科目は、企業においてシステム開発を行っていた教員が、その中で担当したネットワークに関する経験などを元に、より実践的なスキルを身に着ける内容として行う。						
授業の進め方・方法	シスコシステムズが提供するオンラインテキストを使用し、自ら学習を進めていくことになる。必要があれば長期休暇中に集中講義として実施予定である。実機やシミュレータを使用し、理解を深めてもらう。						
注意点	集中講義等のスケジュールはTeamsや電子メール等で調整するのでそれぞれの確認を忘れないこと。 ○自学について (事前学習)(事後学習) 本科目は各自でオンラインテキストを読み、学習する科目である。自分のペースで取り組むことを求めている。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		関連システムの利用ができる		
		2週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。		3つの到達目標に対応した学習をすることができる		
		3週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。		3つの到達目標に対応した学習をすることができる		
		4週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。		3つの到達目標に対応した学習をすることができる		
		5週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。		3つの到達目標に対応した学習をすることができる		
		6週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。		3つの到達目標に対応した学習をすることができる		
		7週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。		3つの到達目標に対応した学習をすることができる		
		8週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。		3つの到達目標に対応した学習をすることができる		
	2ndQ	9週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。		3つの到達目標に対応した学習をすることができる		

		10週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。	3つの到達目標に対応した学習をすることができる
		11週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。	3つの到達目標に対応した学習をすることができる
		12週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。	3つの到達目標に対応した学習をすることができる
		13週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。	3つの到達目標に対応した学習をすることができる
		14週	e-Learning科目なので学習スケジュールは各自で決めること。 必要があれば長期休暇中に実機やシミュレータを使用した実習を行う。	3つの到達目標に対応した学習をすることができる
		15週	オンライン試験および実技試験 相談し、期日を決めて行う。	
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	試験(実技)	合計	
総合評価割合		50	50	100	
基礎的能力		25	25	50	
専門的能力		25	25	50	